様式2

社会資本整備総合交付金　事後評価シート

浅草地区

平成25年3月

東京都台東区

様式２－１　評価結果のまとめ

都道府県名	東京都	市町村名	台東区	地区名	浅草地区		面積	157ha
交付期間	平成20年度～平成24年度	事後評価実施時期	平成24年度	交付対象事業費	1,894百万円	国費率	0.407	

1）事業の実施状況

当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園（隅田公園整備）、高質空間形成施設（水辺散策ルート整備、隅田公園サイン整備）、高次都市施設（浅草文化観光センター）
	提案事業	まちづくり活動推進事業（専門家の派遣）

		事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設（情報板）	区単独事業としたため	影響なし
	提案事業	シャトルﾊﾞｽによる社会実験	民間事業者により運行されことになったため	影響なし
新たに追加した事業	基幹事業	公園（桜橋周辺整備）	安全安心で快適な歩行者空間を形成するため、落橋防止システム、転落防止柵及び照明施設を整備した	影響なし
	提案事業	—	—	—

交付期間の変更			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響
	当　初	平成20年度～平成24年度	—
	変　更	—	

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

	指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	観光センターの利用数		人／年	484,929	H18	570,000	H24		1,050,016	○	あり／なし	特徴ある外観に加え、案内機能や情報発信力の強化および、東京スカイツリーを望む展望テラス整備による	平成25年6月
指標2	隅田公園の利用者数		人／日	3,016	H19	3,300	H24		3,544	○	あり／なし	東京スカイツリーと隅田川の水辺空間の眺望を活かした整備による	平成25年6月
指標3	—										あり／なし		
指標4	—										あり／なし		
指標5	—										あり／なし		

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

	指　標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1	—											
その他の数値指標2	—											
その他の数値指標3	—											

4）定性的な効果発現状況

5）実施過程の評価

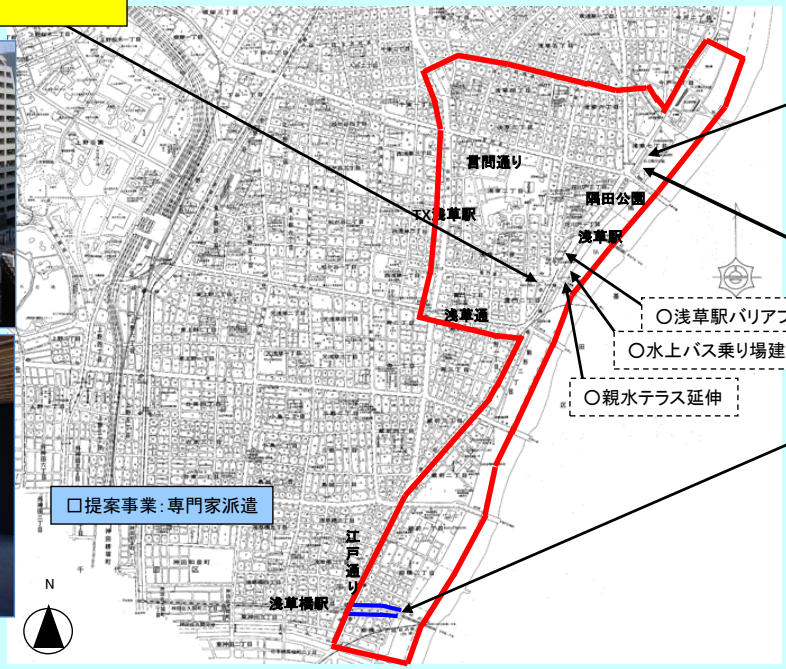
	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	—	都市再生整備計画に記載し、実施できた		—
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス	—	都市再生整備計画に記載し、実施できた		—
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	学識経験者、浅草地区の商業、観光関係団体、地域住民、関係行政庁からなる浅草地域まちづくり推進協議会を設置。当地区における今後のまちづくりについて検討	都市再生整備計画に記載し、実施できた		今後は区が主体となって進捗状況の把握に努めていく。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	○	
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式２－２　地区の概要

浅草地区（東京都台東区）　社会資本整備総合交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：国際観光都市としての魅力を高め、新たな賑わいを創造するまちづくり 目標1：アクセス環境充実による集客力、回遊性の向上 目標2：歴史・伝統文化を活かした観光都市としての魅力の向上 目標3：隅田川の水辺の活性化	観光センターの利用者数	単位：人／年	484,929	H18	570,000	H24	1,050,016	H24
	隅田公園の利用者数	単位：人／日	3,016	H19	3,300	H24	3,544	H24
	—	単位：		H		H		H
	—	単位：		H		H		H
	—	単位：		H		H		H

■基幹事業：高次都市施設（地域交流センター・観光交流センター）
浅草文化観光センター建替え



■基幹事業：高質空間形成施設
隅田公園サイン整備：25箇所

■基幹事業：公園
隅田公園整備

■基幹事業：高質空間形成施設
台東区道台第2・3号線整備
（カラー舗装）：　L＝453m

凡　例
- カラー舗装
- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業

まちの課題の変化	・隅田公園の整備については、東京スカイツリーと隅田川の水辺の眺望を楽しめる展望広場整備により公園内の回遊性、賑わいの向上につながることとなった。 ・浅草文化観光センターにおける情報発信力、観光案内機能の強化及び展望テラス整備により利用者が大幅に増加した。 ・なお、多言語による観光案内機能を強化したことにより、外国人来街者の利用者数が増加した。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	・隅田公園整備においては、今回の整備により増加した利用者がより快適に過ごしていただくための利便施設（休憩施設、誰でもトイレ）整備や、賑わいを公園の北部地域へ広げるため案内機能の強化を行う。 ・また、地域住民の憩いの場として、及び災害時の防災性向上に資する公園整備を行っていく。 ・浅草文化観光センターについては、引き続き施設のPRを積極的に行い利用者の増加に努めていく。

まちづくり交付金　事後評価シート
（添付書類）

（1）成果の評価

添付様式1－①　都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
添付様式1－②　都市再生整備計画に記載した事業の実施状況（完成状況）
添付様式2－①　都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
~~添付様式2－②　その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）により計測される効果発現の計測~~
~~添付様式2－参考記述　定量的に表現できない定性的な効果発現状況~~

（2）実施過程の評価

~~添付様式3－①　モニタリングの実施状況~~
~~添付様式3－②　住民参加プロセスの実施状況~~
添付様式3－③　持続的なまちづくり体制の構築状況

（3）効果発現要因の整理

添付様式4－①　効果発現要因の整理にかかる検討体制
添付様式4－②　数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
~~添付様式4－③　数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理~~

（4）今後のまちづくり方策の作成

添付様式5－①　今後のまちづくり方策にかかる検討体制
添付様式5－②　まちの課題の変化
添付様式5－③　今後のまちづくり方策
添付様式5－参考記述　今後のまちづくり方策に関するその他の意見
添付様式5－④　目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
添付様式6　当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
添付様式6－参考記述　今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称（当該地区の次期計画も含む）

（5）事後評価原案の公表

添付様式7　事後評価原案の公表

（6）まちづくり交付金評価委員会の審議

添付様式8　まちづくり交付金評価委員会の審議

（7）有識者からの意見聴取

~~添付様式9　有識者からの意見聴取~~

（1）成果の評価

添付様式１－①　都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		○			
B. 目標を定量化する指標		○			
C. 目標値		○			
D. その他（　　）		○			

添付様式１－②　都市再生整備計画に記載した事業の実施状況（事業の追加・削除を含む）

基幹事業

事業	事業箇所名	当初計画 事業費	当初計画 事業内容	最終変更計画 事業費	最終変更計画 事業内容	当初計画からの変更の概要 ※1（事業の削除・追加を含む）	都市再生整備計画に記載したまちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況 完成	事後評価時の完成状況 完成見込み
道路									
公園	隅田公園整備	280	11,500	265	11,500㎡	安全安心で快適な歩行者空間を形成するため、桜橋周辺整備（落橋防止システム、照明整備、スロープ整備）を追加	影響なし		○
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	情報板	3	3箇所	0	—		影響なし		
高質空間形成施設	水辺散策ルート整備	40	453m	40	453m	なし		○	
高質空間形成施設	隅田公園サイン整備	20	25箇所	15	25箇所	事業費の変更（事業費の精査による減額）	影響なし		○
高次都市施設	浅草文化観光センター	840	—	1,568	—	設計内容確定による事業費の増	影響なし	○	
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業（都市再生）									
住宅市街地総合整備事業									

※1：事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式１－②　都市再生整備計画に記載した事業の実施状況（事業の追加・削除を含む）

基幹事業

事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの変更の概要 ※1（事業の削除・追加を含む）	都市再生整備計画に記載したまちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1：事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業

事業	細項目	当初計画 事業費	当初計画 事業内容	最終変更計画 事業費	最終変更計画 事業内容	当初計画からの変更の概要 ※1（事業の削除・追加を含む）	都市再生整備計画に記載したまちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況 完成	事後評価時の完成状況 完成見込み
地域創造支援事業									
事業活用調査	シャトルﾊﾞｽによる社会実験	10	新タワー建設地である墨田区押上・業平橋地区との回遊性強化を目的にシャトルﾊﾞｽの社会実験を行う。	0		民間事業者により運行されることになったため。	影響なし		
まちづくり活動推進事業	専門家の派遣	10	観光関係者、商店、地域住民等で構成されるまちづくり協議会へ専門家を派遣しまちづくりに対する相談支援を行う。	6		派遣予定であったまちづくり協議会が設立されなかったため。	影響なし		○

※1：事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

（参考）関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費 当初計画	事業費 最終変更計画	事業期間 当初計画	事業期間 最終変更計画	進捗状況及び所見	備考
親水テラス整備		隅田川	—	—	平成21年度～平成23年度	平成21年度～平成24年度	—	
水上ﾊﾞｽ乗り場建替え		隅田川・隅田公園	—	—	平成21年度～平成23年度		—	
浅草駅ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ工事		東武浅草駅	—	—	平成22年度～平成23年度		—	

添付様式２－①　都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指　標		単位	データの計測手法と評価値の求め方（時期、場所、実施主体、対象、具体手法等）	（参考）※1 計画以前の値（ア）	基準年度	従前値（イ）	基準年度	目標値（ウ）	目標年度	数値（エ）				目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無	
																あり	なし
指標1	観光センターの利用者数	人/年	平成24年4月20日に開業した浅草文化観光センターの5月から7月までの3ヶ月間の利用者数に、建替え前の月別傾向を加味して年間の利用者数を推計する。	338,076	H9	484,929	H18	570,000	H24	モニタリング				モニタリング			
										事後評価	確定		1,050,016	事後評価	○		
											見込み	○					
指標2	隅田公園の利用者数	人/日	隅田公園内桜橋の15時から16時までの1時間の歩行者量を1週間測定し、平均値を8倍したものを1日の利用者量とする。	―	―	3,016	H19	3,300	H24	モニタリング				モニタリング			
										事後評価	確定		3,544	事後評価	○		
											見込み	○					
指標3										モニタリング				モニタリング			
										事後評価	確定			事後評価			
											見込み						
指標4										モニタリング				モニタリング			
										事後評価	確定			事後評価			
											見込み						
指標5										モニタリング				モニタリング			
										事後評価	確定			事後評価			
											見込み						

指　標	目標達成度○△×の理由（達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む）	その他特記事項（指標計測上の問題点、課題等）
指標1	特に外国人向けの案内機能を強化したことが、東京スカイツリー開業の効果とあいまって利用者数の増につながり目標値を達成することができた。	東京スカイツリー開業による増加率の想定が困難であった。
指標2	隅田公園の利用者数は、近年減少傾向にあったものの、本計画において公園のエントランス整備や東京スカイツリーのビュースポットである築山整備の効果により目標を達成することができた。	計測地点である桜橋は、隅田公園内の北端に位置しているため、公園全体の利用者数とするならば別な計測地点での計測も必要であったと思われる。
指標3		
指標4		
指標5		

※1　計画以前の値　とは、都市再生整備計画の作成より以前（概ね10年程度前）の値のことをいう。
※2　目標達成度の記入方法
○ :評価値が目標値を上回った場合
△ :評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合
× :評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

（2）実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式３－①　モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由　　)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由　　)			

添付様式３－②　住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由　　)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由　　)			

添付様式３－③　持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況		実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
			ⅰ．体制構築に向けた取組内容	ⅱ．まちづくり組織名：組織の概要	
浅草地域まちづくり推進協議会	予定どおり実施した		平成19年度に学識経験者、浅草地域の商業、観光関係団体、地域住民、関係行政庁からなる浅草地域まちづくり推進協議会を設置。当地区における今後のまちづくりについて検討。	浅草地域まちづくり推進協議会：本都市再生整備計画の各事業を含む、浅草地域まちづくり総合ビジョンにおける各事業の推進に向けた協議を行うとともに、進捗状況の把握を目的に設置。	今後は、区が主体となって事業の進捗状況の把握に努めていく。
	予定はなかったが実施した	○			
	予定したが実施できなかった (理由　　)				
	予定どおり実施した				
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由　　)				

（3）効果発現要因の整理

添付様式４－①　効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織 （浅草地域まちづくり庁内推進プロジェクトチーム）	関係各課長級職員 （企画課、財政課、にぎわい計画課、観光課、文化産業観光部副参事、まちづくり推進課、土木課、公園課）	平成24年10月30日 （開催1回）	都市計画課 （社会資本整備総合交付金担当課）

添付様式４－②　数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2		指標○		指標○	
指　標　名		観光センター利用者数		隅田公園の利用者数					
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	公園（隅田公園）	—	浅草地区の情報発信の拠点として観光案内機能を強化したこと及び平成24年5月に開業した東京スカイツリーを望む展望テラス整備の効果もあり、目標数値を達成することができた。	◎	隅田公園の再整備については、東京スカイツリーのビュースポット整備や案内サインを整備したことにより公園内の回遊性が向上し目標値を達成することができた。				
	高質空間形成施設（区道台第2号、3号）	—		—					
	高質空間形成施設（隅田公園）	—		◎					
	高次都市施設（浅草文化観光センター）	◎		—					
提案事業	専門家派遣	—		—					
関連事業	親水テラス整備	○		○					
	水上バス乗り場建替え	○		○					
	東武浅草駅バリアフリー工事	○		○					
今後の活用		今後も案内機能の強化に努め、本区の様々な観光情報を積極的に発信していく。また、施設のPRを行い、展示スペースや多目的スペースの利用率		増加した利用者がより快適に過ごせるよう、公園整備を継続していく。					

※指標改善への貢献度
◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
○：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
△：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
－：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

（4）今後のまちづくり方策の作成

添付様式５－①　今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織 （浅草地域まちづくり庁内推進プロジェクトチーム）	関係課区課長級職員 （企画課、財政課、にぎわい計画課、観光課、文化産業観光部副参事、まちづくり推進課、土木課、公園課）	平成24年10月30日 （開催1回）	都市計画課 （社会資本整備総合交付金担当課）

添付様式５－②　まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載したまちの課題	達成されたこと（課題の改善状況）	残された未解決の課題	事業によって発生した新たな課題
浅草文化観光センターの情報発信力の強化と周辺地域との回遊性向上	浅草文化観光センターの建て替えによる情報発信力及び観光案内機能の強化により、観光都市の魅力及び回遊性の向上につながった。	なし	・隅田公園については、これまで実施してきた再生整備や東京スカイツリー開業の効果などにより来街者が増加することとなったが、これら公園利用者のための休憩施設及びトイレ整備が今後の課題となった。 ・また、地域の公園として、子供たちが安全安心に遊ぶことができる遊具の整備や、地域の防災拠点としての公園整備も今後の課題である。 ・浅草地域中心部に集中する来街者を北部地域へ誘導し、賑わいを拡げていく。
東京スカイツリーによる来街者増を踏まえた隅田公園の再生整備	東京スカイツリーのビュースポット整備、公園内のサイン整備、桜橋の照明再生工事を実施し、隅田公園のにぎわい誘客に寄与することができた。	なし	
隅田川下流、浅草橋蔵前エリアとの回遊性を強化	JR浅草橋駅から隅田川へ向かう水辺散策ルートを整備したことにより、駅から水辺への回遊ルートが強化された。	なし	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式５－③　今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	観光センター利用率の向上	引き続き案内機能の強化を図っていくとともに、多目的スペースや展示スペースの利用率の向上に努めていく	区ホームページや広報誌、パンフレット等による施設案内の強化

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改　善　策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	隅田公園内利便施設の整備	東京スカイツリー開業により増加した来街者が、より快適に過ごしていただくため、隅田公園整備を継続していく。	隅田公園再生整備（公園休憩施設整備、トイレ整備、遊具整備）
	北部地域における案内機能の強化	浅草文化観光センターや、隅田公園整備により増加した浅草中心部の賑わいを、歴史、文化資源が点在する北部地域へ拡げていく。	サイン整備
	防災拠点としての公園整備	東京スカイツリー開業の効果等により利用者が増加することとなったが、一方で地域の重要な防災拠点である隅田公園の防災性を向上していく必要がある。	隅田公園再生整備（防災広場整備）

フォローアップ又は次期計画等において実施する改善策を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式５－③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。（チェック欄）

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題（都市再生整備計画）を再確認した。
●	事業の実施過程の評価（添付様式３）を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用（添付様式４－②）を再確認した。
－	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針（添付様式４－③）を再確認した。
●	残された課題や新たな課題（添付様式５－②）を再確認した。

添付様式５－参考記述　今後のまちづくり方策に関するその他の意見

なし

添付様式５－④　目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式２－①、２－②に記載した全ての指標について記入して下さい。
・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式２－①、２－②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指　標		単位	従前値	年度	目標値	年度	評価値			目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
												予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	観光センターの利用者数	人／年	484,929	H18	570,000	H24	確定		1,050,016	○	あり	平成25年6月	平成24年5月～平成25年4月利用者数実績を集計し確定値とする。	
							見込み	○			なし			
指標2	隅田公園の利用者数	人／日	3,016	H19	3,300	H24	確定		3,544	○	あり	平成25年6月	隅田公園内桜橋における、15時半から16時半の1時間の通行者数を1週間測定し、平均値を8倍したものを1日の利用者数（確定値）とする。	
							見込み	○			なし			
指標3				H		H	確定				あり			
							見込み				なし			
指標4				H		H	確定				あり			
							見込み				なし			
指標5				H		H	確定				あり			
							見込み				なし			
その他の数値指標1				H			確定							
							見込み							
その他の数値指標2				H			確定							
							見込み							
その他の数値指標3				H			確定							
							見込み							

添付様式6　当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式6－参考記述　今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称（当該地区の次期計画も含む）

今後の社会資本整備総合交付の活用予定
隅田公園整備における、休憩施設、トイレ、遊具等の公園施設整備が未整備であるため、次期計画を策定し整備を継続していく予定である。 浅草地区（Ⅱ期）

（5）事後評価原案の公表

添付様式7　事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	区のホームページに掲載	平成24年11月21日～ 平成24年12月5日	平成24年11月21日～ 平成24年12月5日	担当課への郵送、FAX、電子メール、持参	都市計画課 （社会資本整備総合交付金担当課）
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他	区政情報コーナー及び 都市計画課での閲覧	平成24年11月21日～ 平成24年12月5日	平成24年11月21日～ 平成24年12月5日		

住民の意見	なし

（6）まちづくり交付金評価委員会の審議

添付様式8　まちづくり交付金評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	青山学院大学教授　懸田　豊	平成24年12月11日	都市計画課 （社会資本整備総合交付金担当課）	台東区浅草地区都市再生整備計画事業評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	雷門地区町会連合会会長 協同組合浅草商店連合会代表理事				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	方法書に従って事後評価が適正に実施されたことが確認された。
	成果の評価	観光センターの評価値（推計値）について、5～7月の3か月間の実測値により年間の利用者数を推計しているが、直近のデータを用いるべきとの意見があった。 →フォローアップ調査として年間利用者数の実測値を確定値とすることを説明し了承を得た。
	実施過程の評価	特になし
	効果発現要因の整理	特になし
	事後評価原案の公表の妥当性	事後評価原案は適正に公表されたことが確認された。
	その他	特になし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	事後評価の手続きは妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	整備計画の計画範囲について、町会等を単位としたほうが良いとの意見があった。また、浅草地区というエリアの考え方が地域住民にとっては違和感があるとの意見があった。 →実際に事業を実施する箇所を中心に計画エリアを設定していると答弁
	フォローアップ	フォローアップの方法については妥当であると認められた。
	その他	特になし
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他		特になし

※1　審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

都市再生整備計画（第4回変更）

浅草（あさくさ）地区

東京都（とうきょうと）　台東区（たいとうく）

平成24年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	東京都（とうきょうと）	市町村名	台東区（たいとうく）	地区名	浅草地区（あさくさ ちく）	面積	157 ha

計画期間	平成 20 年度 ～ 平成 24 年度	交付期間	平成 20 年度 ～ 平成 24 年度

目標

大目標：国際観光都市としての魅力を高め、新たな賑わいを創造するまちづくり
目標1：アクセス環境充実による集客力、回遊性の強化
目標2：歴史・伝統文化を活かした観光都市としての魅力の向上
目標3：隅田川の水辺の活性化

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

経　緯

・浅草地区は、浅草寺を中心に発展してきた寺町地域で、江戸時代から多くの庶民が訪れ栄えた。明治時代には六区等の歓楽街も出現し、娯楽・芸能の中心として現在にも受け継がれているが、歓楽街としては他の地域と比較すると衰退は否めない。しかし年間を通して伝統的な祭りや行事が開催され、下町の歴史文化に触れるべく外国人を含め多くの観光客が訪れる日本を代表する観光拠点である。
・地域の東を流れる隅田川は古くから輸送路・交通路として活用されてきたが、鉄道・道路交通の発達により水上バスや屋形舟等観光目的の利用が中心となってきている。また、高度成長期に悪化した水質も改善され、防災目的の護岸整備と親水性の向上を両立するよう親水テラスの整備が行われ隅田公園とともに人びとの憩いの場となっている。
・浅草駅には東武鉄道、東京メトロ、都営地下鉄が乗り入れターミナル駅となっているが、墨田区押上における東武鉄道と東京メトロとの相互乗り入れ開始により、利用者数が減少している。つくばエキスプレスの開通により首都圏北部から交通の利便性が向上し、新たな人の流れが見られるが既存の駅とは離れているため、歩行者の回遊性・各駅相互の連携強化が求められている。
・平成16年7月に地元観光関係者、関係機関で構成される「浅草地区観光まちづくり推進協議会」が設置され、観光推進を目的としたまちづくりが協議されている。
・平成17年3月に新タワーの建設場所が墨田・台東エリアとして墨田区に決定し、新たな集客拠点となることが予想されることから、地元観光関係者から大きな関心が寄せられている。
・平成18年6月に区が学識経験者、関係機関、地元関係団体等で構成する「浅草地域まちづくり検討委員会」を設置し、浅草地域のあるべき将来像を検討し、平成19年6月に「浅草地域まちづくり総合ビジョン」としてまとめた。

現　況

・本計画は、台東区長期総合計画、台東区都市計画マスタープラン、台東区観光ビジョンと適合している。

課題

・都心部、隣接地における大規模再開発等により新たな集客拠点が生まれることにより、集客地としての相対的な魅力の低下が懸念されている。浅草地区の大きな特徴である歴史・文化を活かした個性的なまちづくりを行い魅力を高める必要がある。
・浅草文化観光センターを中心に情報発信力を強化し、他地域の賑わいを呼び込む回遊性の強化を図り、国際観光都市にふさわしいまちづくりを行う必要がある。
・墨田区に建設予定の新タワーにより人の流れの変化が予想される。この変化を的確にとらえ波及効果が得られるよう新交通システムの導入等回遊性を強化し、新タワーと連携したまちづくりを行う必要がある。
・浅草駅はターミナル駅となっているが鉄道各線の連結性が弱く、乗り換えが不便である。また、鉄道だけでなく観光バス、水上バスを含めた交通結節点として、浅草の玄関口にふさわしく整備する必要がある。
・隅田川と公園が連携した自然に憩う空間になるよう、親水テラスの整備とあわせ新タワーが見えるロケーションを活かした隅田公園の改修が必要である。
・隅田川下流の浅草橋・蔵前との回遊性強化に水辺ルートの利用が重要である、JRの利用者を問屋街を経由し親水テラスへと導くルートを確立する必要がある。

将来ビジョン（中長期）

平成17年3月に策定された台東区長期総合計画に、都市基盤整備として浅草駅周辺地区の整備が計画事業に位置づけられている。
平成18年6月に策定された台東区都市計画マスタープランにおいて、浅草中部地区は地域整備の方針として「江戸文化を世界に向けて発信する粋なまち」①伝統ある文化を活かした活気と賑わいのある商業空間の整備②下町文化にふれる歩行者ルートの形成③国際観光都市浅草にふさわしいまちづくりの推進④江戸の風情を感じる街並みの形成⑤隅田川を基調とした景観形成と親水性の向上、があげられている。
平成19年6月に策定された浅草地域まちづくり総合ビジョンであるべき将来像が提示されている。

目標を定量化する指標

指　標	単　位	定　義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
観光センター利用者数	人／年	浅草文化観光センターの年間延べ利用者数	文化観光センターの建替えによる機能向上により、利用件数が増加し情報発信力が強化され、観光都市の魅力及び回遊性の向上に繋がる。	484,929	18	570,000	24
隅田公園の利用者数	人／日	隅田公園内の公園橋（桜橋） 1日（午前9時から午後5時）の通行量	新タワーのビュースポットとして期待される公園を整備し、水辺を活性化することが、公園の利用者増に寄与する。	3,016	19	3,300	24

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
・新タワーを初めとした近隣の集客拠点との回遊性を強化することにより、容易に行きかうことができるようにし、これまで浅草地区には縁のなかった新たな客層を掘り起こし賑わいが広がるようにする。	専門家の派遣：提案事業（まちづくり活動推進事業）
・伝統文化を活かしたユニバーサルデザインによるまちづくりの推進、浅草文化観光センターを拠点にした情報発信力の強化により、国際観光都市としての魅力を高め、国内外の多くの人びとが訪れ、長く滞在するようにする。	浅草文化観光センターの建替え：高次都市施設（地域交流センター、観光交流センター）
・水上バスも含めた交通結節機能の強化、震災時火災における避難場所として地域の防災拠点となっている隅田公園一帯を、新タワーが見えるロケーションを活かした公園として整備する、親水テラスを利用した南北水辺ルートの確立により、水辺を地域住民だけでなく観光客も含めた人びとの憩いの場となるよう活性化する。	浅草文化観光センターの建替え：高次都市施設（地域交流センター、観光交流センター） 隅田公園整備：公園 サイン整備：高質空間形成施設 カラー舗装：高質空間形成施設

その他

・学識経験者、関係機関、地元関係団体等で構成する「浅草地域まちづくり検討委員会」を設置し、浅草地域のあるべき将来像を検討し、平成19年6月に「浅草地域まちづくり総合ビジョン」としてまとめた。当ビジョンの具現化にあたり、「浅草地域まちづくり推進協議会」を設置し引き続き地元関係団体等と連携し事業を推進する。

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,894	交付限度額	770.8	国費率	0.407

（金額の単位は百万円）

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
道路														
公園		隅田公園	台東区	直	11,500㎡	平成20年度	平成24年度	平成20年度	平成24年度	265	265	265		265
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道		―			―									
駐車場有効利用システム		―			―									
地域生活基盤施設														
高質空間形成施設		区道台第2号・3号線	台東区	直	453m	平成22年度	平成22年度	平成22年度	平成22年度	40	40	40		40
高質空間形成施設		隅田公園（サイン整備）	台東区	直	25箇所	平成24年度	平成24年度	平成24年度	平成24年度	15	15	15		15
高次都市施設		浅草文化観光センター(地域交流センター・観光交流センター)	台東区	直	―	平成20年度	平成23年度	平成20年度	平成23年度	1,600	1,568	1,568		1,568
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										1,920	1,888	1,888	0	1,888 …A

提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
地域創造支援事業														0
														0
														0
事業活用調査		―			―									0
		―			―									0
まちづくり活動推進事業	専門家派遣	―	台東区	直	―	平成20年度	平成24年度	平成20年度	平成24年度	6	6	6		6
		―			―									0
合計										6	6	6	0	6 …B
													合計(A+B)	1,894

（参考）関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	（いずれかに〇）直轄	補助	地方単独	民間	事業期間 開始年度	事業期間 終了年度	全体事業費
親水テラス延伸	隅田川	東京都	国土交通省			〇			21	23	
水上バス乗り場建替え	隅田川・隅田公園	東京都観光汽船(株)						〇	21	23	
浅草駅バリアフリー工事	東武浅草駅	東武鉄道						〇	22	23	
合計											0